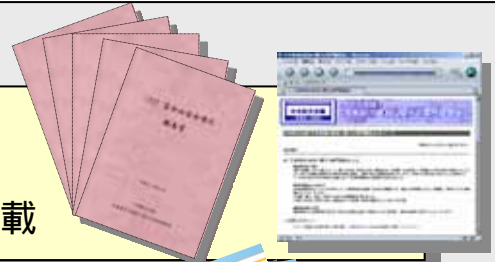


報告書の活用について

現在の活用策

報告書本体の配付等

- 都道府県防災担当部署等への配布、
- 内閣府防災担当のホームページへの報告書掲載



報告書内容の広報

- 報告書作成分科会委員による「広報ぼうさい」への寄稿



報告書内容の海外への普及・啓発

- 国連防災世界会議におけるフォーラムの開催
- 同会議におけるパンフレットの配布



報告書を活用した講演会等(報告書作成分科会委員による)

- 「1982長崎豪雨災害報告書」 於:長崎
- 「1891濃尾地震報告書」 於:岐阜
- 「1783天明浅間山噴火報告書」 於:群馬、長野



今後の活用策の検討

(1) 専門調査会報告書の活用

報告書を活用した 講演会・講義等の推進

- ・報告書の広報の促進
 - 「広報ぼうさい」への寄稿の促進
- ・報告書内のコラムの活用
 - 様々な機会を通じて紹介、
 - 防災教育等における利用((2)参照)の促進

(2) 「災害被害を軽減する国民運動の推進に関する基本方針」に基づく 災害履歴の活用

- ・「防災(減災)活動へのより広い層の参加」を促すために報告書を活用
- ・報告書内容を“(正しい知識を)魅力的な形でわかりやすく提供する”。等

例

災害教訓普及専門家リスト(仮称) 〔(報告書執筆委員等)〕

『災害』
分野: 災害概要、対応、情報、...
委員: ***, ***, ***, ...
...

窓口: 内閣府防災担当

申し込み

派遣依頼

行政機関
防災関係機関等

講義等

執筆委員等